

リウマチ科

■吉澤 和希 内科・リウマチ科部長

日本リウマチ学会専門医,
日本内科学会総合内科専門医,
日本東洋医学会専門医,
日本人間ドック学会専門医,
日本プライマリケア学会認定医

展望

引き続き一人部長で関節リウマチ、およびその他の膠原病につき対応している。サテライトクリニックである葉山ダイケアクリニックおよび湘南かまくらクリニックに月2回づつの診療、および徳洲会グループの関連病院である松原・徳之島各徳洲会に月1日づつ専門外来診療、訪問診療でのリウマチ膠原病患者さんを含めた対応、希望患者にはエキス剤・煎じ薬を含めた漢方薬治療を行っている。整形外科の手術については人工関節センターでTKA THAの依頼、およびそれ以外の手術については当院整形外科に適宜コンサルトを行っている。入院患者については主に総合内科のスタッフ・後期研修医の積極性につき主治医になっていただき、コンサルタントの立場から指導及びフォローアップを行っている。また特に膠原病についてはその疾患の特性上、内科各々の専門家に検査・治療依頼することも多く、コンサルト・連携を図っている。主に外来業務中心となっているが病院周囲に内科系のリウマチ専門家の数が不十分のため、外来は混雑しており十分な対応ができなくなるのが苦慮されており、周辺のリウマチ治療に積極的な整形外科および内科Dr.と病診連携の会を施行し、交流を図っている状況である。かつ聖マリアンナ医科大学に依頼し週2コマの外来非常勤、以前当院につとめていた東京医科歯科大学の福田Dr.に週1コマの外来をお願いしている。

新規薬剤としてSLEの新薬としてプラケニルが発売され日本リウマチ学会の公知申請の尽力によりセルセプトがループス腎炎に認められた。今後の新規治療の動向にもキャッチアップし患者さんに治療を提供していきたいと考えている。

診療実績

1ヶ月あたりの外来数	約860名
内リウマチ患者数	約410名
その他のリウマチ膠原病患者数	約220名
MTX使用者	約310名
生物学的製剤使用者約	70名

学術業績

1月16日 関節リウマチの新規治療を考える会(座談会)

その他

- 5月16日 アダリムマブ ファカルティフォーラム
(アヴイ合同会社)
- 9月4日 院内リウマチセミナー (当院3F講堂)